

第23回高知県オフセット・クレジット認証運営委員会

次 第

1 報告事項

(1) 経過報告

(2) 高知県版J-クレジット制度変更・更新について

(3) 高知県オフセット・クレジット(高知県J-VER)制度変更・更新について

2 審査事項

・モニタリング報告・検証に基づく温室効果ガス吸収量の認証について

審査案件:「高知県四万十市役所市有林間伐推進プロジェクト(温室効果ガス削減)」

3 その他

今後の予定等

日時:平成29年3月22日(水)
13時00分～15時00分

場所:一般社団法人高知県山林協会 会議室

「第 22 回高知県オフセット・クレジット認証運営委員会」議事概要

日 時：平成 28 年 8 月 9 日(火) 13:30～16:00

場 所：一般社団法人 高知県山林協会 1F 会議室

出席者：小林紀之委員長、酒井敦副委員長、仲尾強委員、松藤佑介委員、松本美香委員
J-クレジット制度管理者 小原賢（経済産業省 産業技術環境局 環境政策課
環境経済室 係長）

J-クレジット制度事務局 荻田竜史（みずほ情報総研株式会社）
事務局 内村直也、三好一樹、中川範之、中野比菜子、長崎涼太
吉川聖真、森本祐平、河合弘子

議事

1 報告事項

- (1) 経過報告
- (2) 永続性確認結果について
- (3) 高知県版 J-クレジット制度 制度文書の改定について

2 審査事項

- ・モニタリング報告・検証に基づく温室効果ガス吸収量の認証について
審査案件：「高知県津野町 龍馬の森間伐推進プロジェクト」

3 その他

今後の予定等

議事概要

1 報告事項

(1) 経過報告

1) 第 21 回高知県オフセット・クレジット認証運営委員会の議事概要

- ・3月25日(金)13:30～16:15に(一社)高知県山林協会1F会議室で開催。
- ・高知県版 J-クレジット制度の変更・更新について、第9回 J-クレジット制度運営委員会において、問題なく更新が承認されたことを報告。
- ・高知県 J-VER プログラム認証更新について、平成 28 年 2 月 1 日付で都道府県 J-VER プログラム更新申請書を J-クレジット制度管理者に提出し承認され、新たな登録期間が平成 28 年 2 月 5 日から平成 29 年 2 月 4 日になったことを報告。

2) イベント出展状況の概要

- ・足立区地球環境フェア 2016 に参加し、環境貢献型商品の展示や紹介のほか、カーボン・オフセット関連チラシや環境貢献型商品チラシを配布し、制度普及に努めたことを報告。

3) 直近の高知県 J-VER の活用事例

- ・前回の委員会以降に無効化された高知県 J-VER の活用事例について報告。

(2) 永続性確認結果について

- ・平成 28 年 6 月 30 日までに全てのプロジェクト事業者(12 事業者)から森林施業計画書、森林経営計画書、伐採届け等の永続性確認に必要な資料が提出され、不備はなかったことを報告。

- ・ 12 プロジェクトの森林状況について現地確認を行い、森林内に崩壊等の異常は認められなかったことを報告。
- (3) 高知県版 J-クレジット制度 制度文書の改定について
- ・ 国制度の文書（モニタリング・算定規程 排出削減プロジェクト用 Ver.2.5）改定に伴い、高知県版 J-クレジット制度 制度文書も改定したことを報告。

2 審査事項

- ・ モニタリング報告・検証に基づく温室効果ガス吸収量の認証について
 - ・ 高知県津野町 龍馬の森間伐推進プロジェクト
- 「高知県津野町 龍馬の森間伐推進プロジェクト」のモニタリング報告書及び検証報告書に基づき、審査を行い 653t-CO₂ の吸収量が認証された。

3 その他

- (1) 情報提供
- ・ 小林委員長から企業の地球温暖化や環境をめぐる動きについて説明がなされた。
- (2) 今後の予定
- ・ 第 23 回委員会については 2 ～ 3 月頃に開催予定。

(1) 経過報告

◆イベント出展状況

平成28年 9月17日	「環境デーなごや」 会 場：久屋大通公園（エンゼル広場） 来場者：140,000名 内 容：環境貢献型商品の展示、取組み紹介。
平成28年 10月8日 ～9日	「ウッドフェスティバル」 会 場：サンメッセ香川 来場者：10,000名 内 容：環境貢献型商品の展示、取組み紹介。
平成28年 10月20日	「EVI環境マッチングイベント2016」 会 場：東京国際フォーラム 来場者：300名 内 容：高知県ブース 環境施策、県内プロジェクトの紹介。 協議会ブース 環境貢献型商品の展示。
平成28年 10月22日 ～23日	「第12回もくもくランド2016 秋まつり」 会 場：高知市中央公園 来場者：20,000名（2日間合計） 内 容：高知県ブース 環境施策、県内プロジェクトの紹介。 協議会ブース 環境貢献型商品の展示、販売。
平成28年 11月17日	「朝倉防災展」 会 場：高知大学 朝倉キャンパス 来場者：150名 内 容：環境貢献型商品の展示、取組み紹介。
平成28年 12月8日 ～10日	「エコプロ2016」 会 場：東京ビッグサイト東1～6ホール） 来場者：167,093名（3日間合計） 内 容：高知県ブース 環境施策、県内プロジェクトの紹介。 協議会ブース 環境貢献型商品の展示。
平成29年 2月8日 ～10日	「第83回東京インターナショナルギフトショー春2017」 同時開催：「第21回グルメ&ダイニングスタイルショー春2017」 会 場：東京ビッグサイト全館 来場者：200,867名（3日間合計） 内 容：四国圏カーボン・オフセット推進協議会が出展。環境貢献型商品（14社21商品）の展示、取組み紹介。
平成29年 2月15日 ～17日	「第51回スーパーマーケット・トレードショー2017」 会 場：幕張メッセ 来場者：90,518名（3日間合計） 内 容：「カーボン・オフセットフォーラム」のブースに四国圏カーボン・オフセット推進協議会が開発支援した環境貢献型商品を出品。環境貢献型商品（6社9商品）の展示、取組み紹介。
平成29年 3月4日 ～5日	「高知県環境貢献型商品フェア2017inKITTE」 会 場：KITTE地下1階 東京シティアイパフォーマンスゾーン 来場者：6,263名（2日間合計） 内 容：環境貢献型商品（17社91品目）の展示、販売。

◆平成28年度環境貢献型商品

支援件数	23件
クレジット 無効化量	97t-CO2 内訳 高知県J-VERクレジット（四万十町森林組合）： 12件48t-CO2 高知県J-VERクレジット（いの町）： 6件29t-CO2 高知県J-VERクレジット（大豊町）： 3件12t-CO2 高知県J-VERクレジット（三原村）： 1件4t-CO2 高知県J-VERクレジット（中土佐町）： 1件4t-CO2

参考写真



エコプロ2016
高知県ブース



エコプロ2016
四国圏カーボン・オフセット推進協議会ブース



ギフトショー春2017
四国圏カーボン・オフセット推進協議会ブース



スーパーマーケットトレードショー
J-COFブースに出品



高知県環境貢献型商品フェア2017 in KITTE
～高知の山・川・海の産品を買って環境貢献～

左: イベントポスター
右: 会場の様子

高知県版 J-クレジット制度文書改定内容

1. 高知県版 J-クレジット制度 実施要綱 (Ver. 3.0)

- プロジェクト認証対象期間の延長についての改定

国の制度改訂に合わせて、プロジェクトの認証対象期間の終了日を、平成 42 年度末(2030 年度末)を超えないものとし、あわせて、個々のプロジェクトの認証対象期間は最長 8 年間と改定。

2. 高知県版 J-クレジット制度実施規程（プロジェクト実施者向け）(Ver. 3.0)

- プロジェクト認証対象期間の延長についての改定

高知県版 J-クレジット制度 実施要綱 (Ver. 3.0) と同様の改定

- 森林管理プロジェクトに係る特別措置についての改定

森林管理プロジェクトの実施者に課された、期限付き義務の期限を認証対象期間の延長に合わせて改定。

- 追加性評価に含めるべき費目の捕捉

追加性評価の考え方について、ランニングコストに含める範囲に収入（FITの売電収入等）に関する事項を追記。

※実際には、当該プロジェクトにおいてFIT売電収入は追加性評価に含まれており、また、これまでの他のプロジェクトにおいても売電収入等の収入項目を含めて追加性評価が行われてきた。

3. J-クレジット制度モニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）(Ver. 2.6)

- 活動量モニタリングについて、カタログ値やデフォルト値を使用した場合もそのまま排出量算定に利用できる旨を明記。

4. 方法論 EN-R-001「バイオマス固形燃料（木質バイオマス）による化石燃料又は系統電力の代替」(Ver. 1.3)

- 不随意的排出量の算定に用いる排出係数（木質ペレット用）の改訂

これまで、0.6 tCO₂/tとしていた「バイオマス固形燃料化処理設備の使用によるプロジェクト実施後排出量」（EMPJ, S, process）を木質ペレット使用量に排出係数を乗じて計算する場合の排出係数を、0.4 tCO₂/tに改訂する。

- **単位発熱量に係るデフォルト値(木質ペレット用)の設定**

「プロジェクト実施後の対象設備で使用するバイオマス固形燃料の単位発熱量」(HVPJ,biosolid)について、木質ペレットについても「デフォルト値の使用可」とし、単位発熱量(湿潤ベース:単位GJ/t)のデフォルト値を設定。

- **ベースライン排出量の考え方に係る補足説明の修正**

プロジェクト実施後のバイオマス固形燃料の単位発熱量について、絶乾ベースの単位発熱量を使用する場合は、乗じる固形燃料使用量も絶乾ベースの値とするか、含水率を用いて湿潤ベースの単位発熱量に換算することとし、燃料の種類に係る限定は止める。

方法論を通じて、バイオマス固形燃料の使用量、単位発熱量及び容積密度については、その値が湿潤ベースか絶乾ベースかを一つ一つ注記する。

高知県版 J-クレジット制度更新について

○地域版 J-クレジット制度更新申請書を 2017 年 1 月 20 日に J-クレジット制度管理者に提出。3 月 14 日に開催された第 13 回 J-クレジット制度運営委員会で更新申請が承認された。

高知県オフセット・クレジット（高知県 J-VER） 制度文書改定内容

1. 高知県オフセット・クレジット制度 実施要綱（Ver. 2.2）新旧対照表

- 県 J-VER の有効期限の撤廃について

県 J-VER の有効期限は平成 33 年 3 月 31 日までとなっていたが、有効期限に関する記述が撤廃された。

（参考：オフセット・クレジット（J-VER）制度実施規則）

都道府県 J-VER プログラムの更新について

○都道府県 J-VER プログラム更新申請書を 2017 年 1 月 18 日にオフセット・クレジット（J-VER）制度事務局に提出。2 月 7 日に制度事務局から環境省の確認が終わった旨の連絡あり。制度事務局の WEB 上で更新情報が公開された。